

門川町教育研究所だより



ふれあい

第3号 令和3年9月発行
発行所 門川町教育研究所
所長 新原とも子
TEL 63-1566
五十鈴小学校内(教育相談室)

児童生徒一人1台配置のタブレットPCを活用した授業実践方法を研修！



昨年度、町内全小中学校の児童生徒に一人1台のタブレットPCが配置されたことはご存知のことと思います。というより、このコロナ禍でオンライン授業がクローズアップされたことで広く周知されました。しかしながら、先生方が使えなければ宝の持ち腐れになってしまいます。そのため各自治体では先生方へのタブレットPC活用研修に力を入れ活用スキルの向上を図っています。

本研究所でも各校の研究員が講師となり、夏季休業中に全小中学校でタブレットPC活用の校内普及研修を実施しました。今回は、その様子を一部紹介したいと思います。

タブレットPCの基本操作・各種アプリやサイトアクセス・授業活用方法等を学びました。

研究所研究員による校内
タブレットPC活用研修

講師：鳴門教育大学 藤村裕一教授
オンラインによるリモート研修

研究所研究員による校内
タブレットPC活用研修



今後、4名の研究員は10月下旬～11月中旬にかけてタブレットPC活用の研究(実践モデル)授業を各学校で行い、先生方へ普及推進を図ります。



保護者の皆様へ～心に残った本の一節！紹介



～「いのちある言葉」～ ゆたかな青春の日のために

《人を知るのはむずかしい。自分を知るのは、もっとむずかしい。》

「人を知る」とは、いろいろな視点から、他を客観化することを求められるものでしょう。それは、大変むずかしいことですが、さらにむずかしいのは「自分を知る」ということ、つまり自分をもあらゆる視点から客観化すること。甘えず、冷静に、好悪の感情をはなれ、対象の実態、実相をきわめること。これこそ学問の求める真理への道です。

他人に対しては、いくらでも追求はできても、自分となると、それはなかなかむずかしい。そのことをこの言葉は教えていると思います。(京都常照寺の境内の一隅に立っている掲額の言葉)

【引用文献：いのちある言葉(発行：童心社)】

子どもの教育や子育てで、悩んでいませんか？

困った時には、教育研究所「教育相談室」に気軽に電話をしてください。来室相談も受け付けています。

相談電話(門川町教育相談室)

Tel・Fax 63-1566